

# 令和元年度 第二尾張荘デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

平成29年度から実施してきた運動型通所サービスは、運動機能に改善効果が得られ、利用者満足度の高いサービスであったが、新規獲得が困難で利用者増には至らず、令和元年度3月をもって廃止となった。

しかし運動型通所サービスの実施は、職員の運動に対する意識とノウハウの向上に結びつき、新たに要介護者向けの運動機能改善プログラムとして再編した「体操クラブ」を令和元年7月より実施してきた。身体機能の維持・向上と認知症予防を目的とした体操クラブにより、利用者の運動に対する意識の高まりと定期的な運動習慣に繋がり、開始当初は月曜日・火曜日の週2日開催であったものが、利用希望者の増加に伴い、金曜日も追加し週3日開催することとなった。さらに体操クラブの取り組み内容と定期的な効果測定の結果をグラフや写真で可視化しケアマネジャーに報告することで、加算を取らない運動機能改善プログラムは新たな特色の一つとして、徐々に周知されるようになった。

また今年度は営業計画や営業方法、職員の資質向上、整理・整頓・清掃の3S、無理・無駄・ムラを省く3Mの課題を解決すべく、相談員間で定期的に営業会議を行ってきた。

このような取り組みを地道に行い、令和元年度は以下のように事業を実施した。

## 1 基本方針

当施設にあっては、創設者の「愛するものは愛される」の経営理念に基づき、「尊厳と生きがいのある生活」「利用者本位の自立支援」を基本として、利用者の要介護状態の軽減もしくは悪化の防止、又は、要介護状態となることの予防を資するものである。

## 2 介護度の改善・維持の取り組み

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのために利用者課題の把握に努め、ケアプランに基づき、介護度の維持・改善に努めた。またフロアのリハビリ機器を自由に使用していただく他、運動機能改善プログラムの実施と3カ月に一度の効果測定を行い、前回と現在の状況がどう変化したかを可視化することで目標を持って身体機能の維持・向上に取り組めるよう工夫した。

## 3 介護保険外サービス

独居利用者の夕食準備にかかる負担の軽減や、家族の介護負担軽減を目的として、施設と同じ献立の夕食弁当をデイサービス利用時に、自宅まで届けるサービスを開始して約8年、利用者数は一日平均2～3名であった。その他の介護保険外サービスとしては、要支援者の実費利用が1名、外部美容師による理容はひと月に3～4名の方が利用され、在宅生活を支える一助となった。

#### 4 ユーザー評価及び情報開示の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた民主的で健全な事業経営が求められている。運動型通所サービスも含め、ユーザー評価及び情報開示の実施により、利用者、家族の「安心」と「信頼」を得られるよう、サービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

#### 5 アクティビティ活動の促進

表 19（一日のサービス実施内容）参照

#### 6 事故防止対策の取り組み

事故防止対策は、職員一人一人の意識対策が必要であり、「ヒヤリハット」「車両ヒヤリハット」「できごと報告書」「ヒヤリメモ」を通して改善策を見だし、事故発生時においては、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するよう努めた。さらに毎月の職員会議の場でヒヤリハットの検証を行い、大きな事故を引き起こすことがないように心掛けた。

#### 7 相談・苦情

利用者・家族からの率直な意見を、適切に収集し、真摯に受け止めるために「相談（苦情）受付表」と「できごと報告書」を活用し、利用者懇談会を設け、利用者・家族の苦情・意見・要望に対して、出来る限りの改善に努めた。

また日頃から何気なく交わされる会話の中で、利用者・家族の悩みや不満を察知し、話をする機会を設けるなど、早めに問題解決を図った。ケアマネジャーからの相談・苦情についても円滑、迅速に対応した。

#### 8 個人情報の保護

日常的に利用者・家族の個人情報を多く取り扱っており、いったん取り扱いを誤ると、利用者・家族に被害を及ぼすおそれがあるため、全職員に対して個人情報の管理と適切な取り扱いについての周知徹底を図った。

#### 9 運動型デイサービスの実施

平成29年度から実施した総合事業の運動型デイサービスは、実費希望者を含め4名が利用し、体力測定の効果も可視化することができ好評を得た。しかし利用者増には至らず、令和元年度3月をもって廃止し、運動型デイサービスの実施により培ったノウハウは、次年度の従来型デイサービスに繋げていくこととなった。

#### 10 職員の安全衛生・メンタルヘルスの取り組み

ストレスチェックや安全衛生の取り組み（交通安全危険予知・腰痛予防・感染症対策など）を行い、身体的・精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と心身の健康を保持し、良質な介護サービスが提供できるよう努めた。

## 11 設備・備品の改善

- ・デイサービス玄関、フロア等のリニューアル、浴室床洗浄

## 12 職員の配置状況

(令和2年3月31日現在)

	施設長	生活相談員	看護師	介護士	運転士	計	実人数
常勤専従	—	—	—	—	—	—	—
常勤兼務	1	2	—	3	—	6	4
非常勤専従	—	1	—	6	3	10	10
非常勤兼務	—	2	3	3	—	8	6
計	1	5	3	12	3	24	20

## 13 職員の研修状況

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームワーク向上に向けて</li> <li>・施設見学実習</li> <li>・移乗・入浴介助実技研修</li> </ul>	内部研修 内部研修 内部研修
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善への取り組み</li> <li>・事故の発生等緊急時の対応に関する研修送迎時の事故発生時の対応について</li> <li>・倫理及び法令遵守に関する研修</li> </ul>	内部研修 内部研修 内部研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者無断外出の際の対応マニュアルの見直し</li> </ul>	内部研修
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症及び認知症ケアに関する研修</li> <li>・感染症及び食中毒の発生事例、ヒヤリハット事例等の検討</li> <li>・事件事例、ヒヤリハット事例等事故防止につながる事例の検討</li> </ul>	内部研修 内部研修 内部研修
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症実践者研修</li> <li>・ヒヤリハット事例の研修</li> </ul>	外部研修 内部研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害時の対応に関する研修</li> </ul>	内部研修
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症及び食中毒の発生予防とまん延防止に関する研修</li> </ul>	内部研修
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスに関する情報の共有についての会議、研修、勉強会</li> </ul>	内部研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善を通して働きやすい職場をつくる研修</li> <li>・事故の発生予防またはその再発防止に関する研修</li> </ul>	内部研修 内部研修
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修</li> <li>・職員の資質向上に向けて、職員相互に学び合う（接遇）</li> </ul>	内部研修 内部研修
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束等の排除のための取り組みに関する研修</li> </ul>	内部研修
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザー評価の結果より</li> <li>・介護技術研修</li> <li>・今年度のまとめと次年度の方針案</li> <li>・非常災害時の対応に関する研修</li> </ul>	内部研修 内部研修 内部研修 内部研修

### 14 区別登録者の状況

(令和2年3月31日現在)

	守山区	その他の区	計
男性	10人	0人	10人
女性	37人	0人	37人
計	47人	0人	47人

### 15 利用者の要介護度の状況

(令和2年3月31日現在)

登録現員	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
47人	1人	1人	6人	13人	14人	9人	3人	0人	2.14
100%	2%	2%	13%	28%	30%	19%	6%	0%	
30年度	1%	1%	20%	20%	37%	17%	0%	4%	1.55

### 16 利用の状況

(令和2年3月31日現在)

	実施 日数 (日)	登録者数(人)		延利用者数(人)			1日当た りの平均 利用人数	令和1年度 利用率 (稼働率)	30年度 1日平均 利用人数	30年度 利用率 (稼働率)
		総合 事業	通所 介護	総合 事業	通所 介護	利用者 数合計				
4月	26	11	41	63	282	345	13.27	53.1%	19.4	77.9%
5月	27	12	40	85	379	464	17.19	68.7%	21.2	85.0%
6月	25	12	39	82	354	436	17.44	69.8%	20.9	83.8%
7月	27	12	41	89	385	474	17.56	70.2%	21.2	85.1%
8月	27	11	43	73	350	423	15.67	62.7%	19.3	77.5%
9月	25	12	45	68	387	455	18.2	72.8%	19.2	77.2%
10月	26	10	44	68	427	495	19.04	76.2%	18.2	73.0%
11月	26	10	47	53	454	507	19.5	78.0%	17.4	69.7%
12月	25	9	46	49	402	451	18.04	72.7%	18.3	73.3%
1月	25	9	43	55	379	434	17.36	69.4%	17.5	70.2%
2月	25	9	44	56	366	422	16.88	67.5	17.8	71.2%
3月	26	8	39	47	383	430	16.54	66.2%	17.3	69.1%
計	310	124	512	766	4560	5326	—	—	—	—
平均	25.8	10.3	42.7	63.8	380	443.8	17.1	68.9%	18.9	76.0%

### 17 利用者のADLの状況

(令和2年3月31日現在)

ADL		男性	女性	計	割合
歩 行	全 介 助	0人	2人	2人	4%
	一部介助	1人	21人	22人	47%
	自 立	9人	14人	23人	49%
食 事	全 介 助	0人	3人	3人	6%
	一部介助	0人	7人	7人	15%
	自 立	10人	27人	37人	79%

入浴	全介助	0人	4人	4人	9%
	一部介助	8人	31人	39人	82%
	自立	2人	2人	4人	9%
着脱衣	全介助	0人	4人	4人	9%
	一部介助	3人	15人	18人	38%
	自立	7人	18人	25人	53%
排泄	全介助	0人	3人	3人	6%
	一部介助	2人	13人	15人	32%
	自立	8人	21人	29人	62%
認知症		7人	24人	31人	66%

## 18 年齢別の状況

(令和2年3月31日現在)

	男性	女性	計	割合
65歳～69歳	1人	0人	1人	2%
70歳～74歳	0人	1人	1人	2%
75歳～79歳	2人	6人	8人	17%
80歳～84歳	2人	8人	10人	21%
85歳～89歳	3人	11人	14人	30%
90歳～94歳	1人	8人	9人	19%
95歳～99歳	1人	3人	4人	9%
100歳以上	0人	0人	0人	0%
計	10人	37人	47人	100%
平均年齢	83.4歳	85.5歳	85.0歳	—

## 19 一日のサービス実施内容

身体機能の維持・向上を図り転倒予防に努める、脳の活性化を図り認知症の進行を予防する、気分転換を図り精神的安定を図る等を目的として、複数のメニューから利用者自らが主体的に選択することを重点に置き取り組んだ。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題 カレンダー作成 間違い探し・塗り絵 オセロ・囲碁・点つなぎ 音楽療法・編み物・読書	料理・ちぎり絵・回想法 映画鑑賞・麻雀 工作・壁画作り・朗読会 詩吟・音楽療法・書道教室	ハンドマッサージ 整膚・アロマ 健康に役立つ話し 生活に役立つ情報 傾聴・各種相談 季節行事

運動	健康チェック リハビリ（器具を使用）	外出 オリエンテーリング 体操クラブ（器具を使用） ボーリング・輪投げ 脚力ゲーム	歩行訓練 転倒防止体操 上肢体操 下肢体操
口腔	口腔体操	カラオケ 会話・談話	発声訓練 口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	旬の食材や栄養の話